

第1回前橋市官製談合原因究明調査委員会会議報告（概要）

区 分	内 容	
日 時	令和3年6月9日（水） 午後2時から午後3時30分まで	
場 所	前橋市議会棟庁舎3階 第二委員会室	
出席委員	戸塚良明委員長、稲垣則行副委員長、石原栄一委員、廣瀬信二委員、西村淑子委員、塚越保典委員、高橋宏幸委員、長岡道定委員	
欠席委員	なし	
開催趣旨	1 官製談合事件の原因究明及び再発防止策を検討するため	
議 題	(1) 前橋市官製談合原因究明調査委員会の進め方について (2) 事件の概要及び対応等について (3) 職員アンケートの結果について (4) 原因分析及び再発防止策に関する意見の集約について	
	質 疑 ・ 意 見	回 答
	(1) 前橋市官製談合原因究明調査委員会の進め方について	
	質 疑 ・ 意 見 等 特 に な し	
	(2) 事件の概要及び対応等について	
	群馬県や国の入札では、予定価格は事後公表としている。予定価格を事前公表とすることは不正防止につながるが、業者間での談合が発生する可能性があるなどデメリットもある。	国は事後公表を指導しているが、事後公表だと職員が秘密を抱えることになり、疑念を払拭できない場合もある。そういった面で、事前公表している自治体もあるのだと思う。確かに予定価格を事前公表とすることでデメリットになる部分もある。
	予定価格を事前公表に変えた自治体では、入札価格が高止まりしたり、何か問題が生じているのか。	落札率が高止まりの傾向にある自治体や最低制限価格と同額で複数の業者が入札をしてくじ引きになる自治体があるとのことである。自治体により状況は異なる。
	4月に職員が逮捕されて事件が明るみになったとのことであるが、捜査の端緒は何だったのか。警察はどこから情報を入手したのか、把握している内容はあるのか。 もし公益通報を利用したということであれば、それを強化するなど、再発防止策の検討のアイデアにもなると思う。	逮捕で初めて事態を知った。動機やどこからの情報なのかも知らない。

<p>コンプライアンス研修をしているとのことであるが、それが活かせていないと思う。</p> <p>研修をやっても明瞭な結果が出るわけではない。難しいとは思いますが、職員の意識を醸成してもらいたい。</p>	<p>今回の事件を受けて研修の内容については検証したい。アンケート結果でも官製談合防止に関する研修を受けていない、趣旨を知らない、という回答もあったので、今後研修をしたいと考えている。</p>
<p>事件を受けて予定価格を事前公表にしたということであるが、事件があったのは指名競争入札である。一般競争入札と比較して、指名競争入札の方が秘密事項の漏洩が起きやすいと思う。指名競争入札の扱いについて、今後どのように考えているのか。</p> <p>指名競争入札は限られた業者の中での入札になってしまうと思うので、指名の範囲を再考するか、全ての入札を一般競争入札にするなど検討しても良いと思う。</p>	<p>予定価格が5千万円未満の場合は指名競争入札としている。入札制度については、建設工事等入札・契約制度検討委員会や入札監視委員会でも検討したが、今回の事件は官製談合ということで、一般競争入札の拡大の結論には至らなかった。原因究明調査委員会でも再発防止策の検討をすることとなっているので、一般競争入札の拡大についてご意見があれば、検討したい。</p>
<p>(3) 職員アンケートの結果について</p>	
<p>アンケート結果を見ると、仕事を円滑に進めるために特定の業者だけを選定しているという回答もあった。官製談合防止法の趣旨を知らないという回答や職場内で話す機会がないという回答もあった。</p>	<p>今後重点的に研修やOJTを考えていきたい。</p>
<p>(4) 原因分析及び再発防止策に関する意見の集約について</p>	
<p>質疑・意見等特になし</p>	